

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果(小学校)

坂井市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	三国南	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	業間運動で外遊びと中遊びを週2日体制で行った。運動遊びを各種目設定し、児童がしたい運動を選択できるようにした。	従来の業間マラソンのように教師が児童にさせるのではなく、児童が自主的に選択することによって、ほとんどの児童が積極的に時間いっぱい活動していた。
2	三国北	小学校	本校の体力向上の取組みについて	授業はじめの準備運動で、柔軟運動を取り入れた。また、「体づくり運動」の一環として、ペアの人数や道具などを工夫し、児童が意欲的に柔軟運動に取り組めるような授業を実践した。また、共有フォルダ内に教室でもできる運動動画のリンクを貼った。	体力テストの結果を見ると、「長座体前屈」の項目において、昨年度と比べてどの学年も男女ともに平均値が上がった。体を伸ばす際の工夫や息遣いなどを念入りに指導したことや、体づくり運動で様々な運動に親しんだことが成果につながったと思われる。
3	雄島	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	なわとび交流会の実施 2月の異学年のなわとび交流会の実施に向けて、なわとびの練習場所を増やしたり、学年に応じた技カードを作成したりした。	練習場所を増やしたこと、業間や昼休みになわとびをもって練習に行く児童が増えた。 技カードから子ども自身が選択し、様々な難易度の技に挑戦する様子が見られるようになった。
4	加戸	小学校	本校の体力向上の取組みについて	業間休みと昼休みに、体育館とグラウンドの割り振りを2学年ごとに行い、広いスペースを思い切り動けるような環境を整えた。	業間休みと昼休みに自由に遊べる場所を設定したことにより、進んで屋内外での運動遊びに取り組む児童が増えた。
5	三国西	小学校	本校の体力向上の取組みについて	意欲が高まるような場の設定 ・個人の実態に合わせて練習できる場を用意した。	学校評価の「進んで体力向上することができた」と回答した児童は、91%でほとんどの児童が、意欲的に体力向上に取り組めた。
6	平章	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	児童一人一人が運動を習慣化できるよう、体育的行事や授業で取り組んだ主運動を、自由遊びの中でも実践できるように工夫する。	マラソン大会やなわとび大会の実施方法を、自己の記録の変容に焦点を当てた内容に変更したことで、休み時間に走ったり、縄を跳んだりする児童の姿が見られた。

7	長畝	小学校	本校の体力向上の取組みについて	準備運動にグー・パー体操、なわとびを取り入れた。	授業の導入の運動として、楽しんで取り組むことができた。雨の日などにも室内運動に取り組むきっかけになった。
8	高椋	小学校	本校の体力向上の取組みについて	体力テスト強化週間を設け、はぴりゅうスポーツ広場を活用しながら、意欲的に取り組むよう声かけを行った。かけっこ教室(トップアスリートを招いた授業)を開いた。	全国体力テストの結果から、50m走は小学5年男子が県平均より、タイムで0.12秒速く、点数で1点高くなった。かけっこ教室では、高学年児童が走ることの楽しさに気づくことができていた。
9	鳴鹿	小学校	本校の体力向上の取組みについて	毎週2回、以下の内容をパワーアップタイムという業間運動で行った。 ・マラソン運動 ・大なわとび ・短なわとび	学校評価アンケートにおいて、体力向上に関する質問では、教員、児童、保護者すべてにおいて肯定的な回答が9割程度と高い割合を占めていた。
10	磯部	小学校	本校の体力向上の取組みについて	ICT等を活用しながら活動の様子を記録したり、学習を振り返ったりすることで、意欲的に運動に親しむ態度を育む。	児童が主体的に課題を見つけ、解決していく方法を考える力がついてきた。課題解決のために協働する姿が見られた。
11	明章	小学校	本校の体力向上の取組みについて	ふれあいタイム(業間)を活用した体力づくり ・ふれあいタイムの時間を毎日確保し、自由遊びを奨励して体力を向上させた。 ・マラソン大会や大縄跳び大会前には、練習時間を確保して体力向上を図った。	天気の良い日には、外で遊ぶ児童が増え、体を動かすことを楽しんでいた。
12	春江	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	「逃走中」(各学年実施)や「ミニ運動会」(全校実施)といったスポーツイベントを体育委員会が、企画運営を行った。 各学級の運動器具の充実を図った。	体育委員会が企画したスポーツイベントに、多くの児童が楽しく運動に親しむことができていた。 各学級に、大なわとドッジビーを新たに配布したことで、昼休みに意欲的に運動する児童が増えた。
13	春江西	小学校	その他	サッカーの出前授業とドッジビーの出前授業を外部団体をお願いした。	運動が苦手で普段は積極的に運動をしない児童も、楽しそうに運動をする様子が見られた。

14	大石	小学校	その他	外部指導者を積極的に活用し、ディスクゴルフやディスクドッジ、卓球、障がいスポーツなど地域で親しまれている運動に広くふれる機会を設けた。	福井ユナイテッドの選手と交流し、サッカーの高い技能にふれることで、運動意欲の向上につながった。また、台湾の児童とのディスクドッジ交流事業、フライングディスク体験会など、さまざまな体育行事を企画し、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力の基礎づくりを行うことができた。
15	春江東	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	はぴりゅうスポーツ広場の活用 昨年のやり方からもう一工夫し、2学期から、週に1回、学年・学団※・縦割り班で活動を行った。（「準備物なし」「誰でも出来る」種目を選択できるようにワークシートを作成した。全学年に配付して事前にやる内容を決めておいた。） ※学団（低・中・高の2学年単位の集団）	学団でやる際は、教室では出来ない種目を選定し、また学年を越えて交わりながら体を動かした。縦割り班では、4～6年生は、下学年にコツを教えられるようになった。下学年は、教えてもらった種目を休み時間に積極的に練習するようになった。その結果、1回しか出来なかった種目が何回も出来るようになったり、新しい種目に挑戦したりする姿が見られた。
16	東十郷	小学校	本校の体力向上の取組みについて	AIスマートコーチやiPadのカメラ機能を活用し、体育の様子を仲間と撮影・分析・改善点を共有することで、苦手な児童も達成感を味わい、前向きに取り組めるようにした。	自らの動きを撮影・分析して改善点を共有した結果、「なわとび大会」では各学年で記録が向上し、技跳び部門では上位記録が最大76回向上した。200回以上達成者も増加し、挑戦意欲の向上につながった。
17	大関	小学校	本校の体力向上の取組みについて	タブレットで自分の動きを撮影したり、自分で改善点を考えたり、友達と教え合ったりする活動を取り入れた。	自分の課題に気づいたり、新たな課題を設定したり、友達と教え合ったりする姿が見られ、その気づきをもとに、さらに技の完成度を高めようと進んで練習に取り組んでいる姿がたくさん見られた。

18	兵庫	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	マラソン大会やなわとび大会に向けて、児童が目標をもって意欲的に活動ができるようにするため、マラソンがんばりカードや、なわとびカードなどの記録用紙を活用した。また、班対抗大縄大会など、仲間と高め合える機会を設定した。	なわとびカード等を活用しながら、自ら進んで運動する姿が多く見られた。また、班対抗大縄大会などの機会を目標として、異学年同士が交流して練習する姿が見られた。
19	木部	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	業間運動として、週1回各学年で、はぴりゅうスポーツ広場に取り組む「はぴスポタイム」を設定して、さまざまな種目に取り組んだ。	「はぴスポタイム」を設定し、各学年でさまざまな種目に取り組むことで、児童の運動への意欲が向上し、運動習慣の定着につながった。